

平成23年度

事業報告

自 平成23年4月 1日

至 平成24年3月31日

公益財団法人岩手県国際交流協会

平成 23 年度事業報告

I 報告概要

平成 23 年度は、3 月 11 日に発生した東日本大震災津波によって外国人県民を含む多くの県民が被災したため、大震災津波発生後の平成 22 年度末から引き続いて当協会として可能な被災者支援活動を実施したほか、平成 23 年 4 月から新制度の下での公益財団法人に移行したことに伴い、あらためて当協会の設立の目的と公益法人の役割と責務を自覚し、公益活動を担う団体として国際交流事業活動を通じて公共の福祉を増進していくこととし、平成 23 年度事業計画に基づいて、「多文化共生の地域づくり」、「交流による地域づくり」、「次代を担う人づくり」及び「震災被災者の支援」の 4 つの柱により各種事業を展開した。

「多文化共生の地域づくり」においては、ホームページを多言語（日本語、英語、中国語、韓国語）で作成し、大震災関連の各種生活情報や被災地情報を発信するなど、各種の情報提供に努めた。また、在住外国人を対象として、日本の諸制度や専門用語などの理解を深める通訳研修会を開催し、サポーターとして支援活動ができる在住外国人の育成に努めた。

「交流による地域づくり」においては、国際交流のイベント情報などを紹介する情報紙「jien go」を 6 回発行し、県民の国際交流への参加機会の拡大に努めるとともに、機関誌「いわて国際交流」については、時機を得た特集企画ができるように年 1 回の発行から年 2 回の発行とし、大震災関連の特集を組んで、世界各地からの応援メッセージや被災地支援に頑張っている外国人の紹介などに努めた。また、県の国際交流センターの管理運営を行い、情報提供、交流イベント開催、各種相談などにより、県民と外国人の交流等の拠点機能を果たすよう努めた。交流イベントでは、毎月開催している外国人との交流会「ちゃっぴーランド」の特別版として、大震災で被災した中高生をポーランドに招待した「絆の架け橋プロジェクト」実現の労をとったポーランド大使夫妻を囲む感謝の夕べを開催し、多数の県民の参加を得た。また、「2011 ワン・ワールド・フェスタ」を国際交流センターと沿岸地域で「世界との絆 ありがとうを岩手から」をテーマに開催し、大震災で世界各地から寄せられた支援に感謝するメッセージを国内外に発信した。その他、在住外国人や沿岸地域の被災者の参加も得て「ワン・ワールドで踊ろう さんさ踊り」を実施するなど、県民と外国人の交流を深める機会の設定に努めた。

「次代を担う人づくり」においては、「いわてグローバルカレッジ」を開催し、8 回の講座を通じて、岩手という視点を活かしつつ、世界のことを考え、活躍できる人材の育成に努めた。また、多文化共生社会などをテーマにした「国際理

解ハンドブック（パート2）」を作成し、国際理解教育の推進に努めた。

「震災被災者の支援」においては、震災情報紙「jien go」の臨時号を日英中3か国語で7回発行するとともに、IBC岩手放送の協力でラジオ番組の中に英語と中国語によるコーナーを設け、被災者に役立つ情報の提供に努めた。また、職員が被災地を巡回して在住外国人の相談に応ずるとともに、被災地に3人の臨時の相談員を委嘱し、被災地の外国人の相談に身近な場所に対応したり、協会との連絡をスムーズに行うことができるようにした。なお、当協会に海外などから寄せられた震災義援金 597,341 円を岩手県災害義援金募集委員会に届けた。

II 個別的事業実績

1 多文化共生の地域づくり

(1) 情報提供

① 多言語ホームページによる情報提供

ホームページ <http://www.iwate-ia.or.jp/> で日本語・英語・中国語・韓国語により、協会からのお知らせ、イベント等の情報、在住外国人への生活情報、国際交流団体の活動情報等に加えて大震災関連の各種生活情報や被災地情報の発信を行った。また、震災直後からツイッターとフェイスブックを連動させて、随時、新しい情報を日本語・英語・中国語で発信した。



- ・ホームページの来訪者
56,882 件（前年度 54,576 件）

② 多言語モバイルサイトによる情報提供

多言語（日本語・英語・中国語）の携帯電話ホームページサイトによりイベント情報等を迅速に提供した。

- ・携帯電話ホームページ情報提供件数 792 件（前年度 595 件）

③ 多言語の国際交流情報紙「jien go」の発行

県内外の国際交流・協力のイベント情報や外国人への生活情報に加え、多文化共生社会形成への啓発情報、海外在住者からの情報、イベン



ト報告や講演要旨などを掲載した国際交流情報紙「jien go」（日本語版、英語・中国語版）を隔月発行した。

- ・日本語版（隔月 6 回） 合計 18,000 部（3,000 部／回平均）
- ・英語・中国語版（隔月 6 回） 合計 15,000 部（2,500 部／回平均）
- （前年度 日本語版（隔月 5 回） 合計 15,000 部、英語・中国語版（隔月 5 回） 合計 12,500 部）

④ 震災に関する情報提供【再掲】

- ア 多言語の震災関連情報の情報紙「jien go」臨時号の発行
- イ ラジオを活用した情報提供

(2) 日本語学習支援

① 日本語サポーターの登録・育成と活用

在住外国人の日本語学習を支援することにより、コミュニケーションが図られ、在住外国人が地域の中で円滑に生活できるよう支援を行った。

ア 日本語サポーターの登録・活用

在住外国人の抱える日本語学習ニーズに対応するため、日本語サポーターを登録し、活用を図った。

- ・登録者 158 人 活用 33 件（前年度 151 人 49 件）

イ 日本語サポーター実践研修会

日本語サポーターの研鑽を図るとともに、情報・意見交換のため、実践者研修をアイーナで開催した。

- 開催回数 3 回 延べ 71 名
- （前年度 5 地域 延べ 142 名）



a 日 時 平成 24 年 2 月 10 日（金） 13:30～16:30

講 師 坂井訓久氏（榊凡人社営業部次長）

テーマ 「教材を探そう！～にほんご専門書店から見た学習者にあつ教材とは？～」

参加者数 27 名

b 日 時 平成 24 年 2 月 11 日（土） 13:30～16:30

講 師 山下隆史氏（文化庁国語課日本語教育専門職）

テーマ 「“生活者としての外国人” に対する日本語教育カリキュラムの活用ガイド」

参加者数 20 名

c 日 時 平成 24 年 2 月 12 日（日） 13:30～16:30

場 所 アイーナ 5 階会議室 501

講師 足立祐子氏（新潟大学国際センター准教授）、
 協力 松岡洋子氏（岩手大学国際交流センター准教授）
 テーマ 「“多言語素材集”を使った学習活動」
 参加者数 24名

② 日本語教室運営支援

地域の外国人住民を対象として日本語学習支援を行う日本語教室を支援するため、助成金の上限を3万円を5万円に、助成割合を1/2から2/3に引き上げ、助成した。

・助成数 4件 助成総額 175千円（前年度6件 200千円）

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
日本語教室「いっぽいっぽ」運営事業	日本語教室「いっぽいっぽ」	50,000円 (132,846円)
日本語交流室「じょい」日本語指導	日本語交流室「じょい」	50,000円 (83,651円)
「日本語教室の開催」	川崎21世紀国際交流クラブ	50,000円 (117,828円)
NIKK日本語教室	日本語サポートクラブ NIKK	25,000円 (38,698円)

③ 在住外国人児童生徒の学習支援 いわて多文化子どものキャンプ

県内に在住する外国人児童生徒は、住む地域や学校により支援の状況が異なることから子ども自身はもとより、在住外国人保護者も日本語や教科学習、学校生活に対する不安や悩みを抱えている。

そのような外国人児童生徒や在住外国人保護者へ日本語や教科学習の進め方や学校生活、進路へのアドバイスを行うとともに、同じ境遇の子どもや保護者が意見交換をする機会を提供するために、合宿形式の学習会を共同で開催した。

ア 実施団体 いわて多文化子どもの学習支援連絡協議会
 イ 共同開催 公益財団法人岩手県国際交流協会、いわて多文化子どもの教室 むつみっこくらぶ（盛岡市）、ゆうの会（一関市）、日本語サポートクラブ NIKK（二戸市）、岩手大学国際交流センター
 ウ 日程 2月18日（土）～19日（日）1泊2日
 エ 会場 国立岩手山青少年交流の家（滝沢村滝沢）
 オ 参加者数 44人

(3) 外国人県民の生活支援

① 外国人相談の実施

在住外国人が抱えている様々な問題などを解決に導くことにより、在住外国人が地域社会の一員として暮らしやすいようにするため、外国人等からの様々な相談に対応した。岩手県から受託した国際交流センターの機能としての「外国

人相談」については、スタッフ職員を配置し、電話や来訪した在住外国人等に対して、日常的な事案の相談に対応するほか、スタッフ職員では対応できない特殊、専門的な事案等に対応するため、中国人の相談員や韓国人、中国人の相談補助員を配置して、丁寧できめ細やかな支援を行った。

ア 相談窓口の設置

在住外国人が安心して生活できるよう、日本語学習・医療・福祉・子育て等に関する事など幅広い相談に対応するため、外国人相談窓口を設置した。

- ・相談件数 446 件（前年度 465 件）（イ、ウの相談件数を含む。）

（相談内容の内訳）

	コミュニケーション	住居	教育	医療・保健・福祉	行政手続	その他
23年度	86	9	40	32	126	153
22年度	117	4	22	18	60	244

イ 相談専門員の配置

中国語等での対応が可能な専門の相談員等を配置し、人数が多い中国籍等の在住外国人からの相談に対応した。

- ・外国人相談専門員（中国、1名） 火曜日～金曜日 12：30～18：30
- ・外国人相談補助員（中国・韓国、各1名） 隔週月曜日～金曜日 17：30～21：30

ウ 行政手続定期相談日

在住外国人が抱える在留資格・諸手続きなどの課題を解決するため、岩手県行政書士会との連携により定期的な相談日（毎月第3水曜日）を設けた。

- ・開設回数 12回 相談件数 5件（前年度 11回 15件）

エ 地域巡回相談

外国人相談専門員が地域の日本語教室を巡回し、日本語教室に寄せられる相談への対応を行うことで地域の日本語教室を支援し、また、地域の在住外国人からの相談対応や情報提供を行った。

- ・巡回教室数 9教室（前年度 延べ28教室）
- ・相談対応件数 34件（前年度 55件）

（相談内容の内訳）

	在留資格	離婚	日本語	子ども	手続き	夫婦関係	仕事	相談対応
23年度	3	1	7	8	3	1	4	7
22年度	10	5	9	5	9	12	3	2

オ 震災関連の相談対応【再掲】

② 多言語サポーターの登録・育成と活用

日常の様々な分野において、多言語でアドバイスすることにより、在住外国人が地域の中で円滑に生活できるよう支援を行った。

ア 多言語サポーターの登録・活用

在住外国人が安心して生活できるよう、災害時又は医療受診時における通訳等の支援、学校における外国人児童生徒等に対する通訳等や生活上の諸手続きに関する通訳等の支援を行う多言語サポーターを登録し、活用を図った。

・登録者 179人 活用 12件（前年度 159人 19件）

イ 多言語サポーター研修会

(7) 在住外国人向け通訳研修

通訳や支援ができる在住外国人の人材が不足していることや、日本での自らの経験を踏まえたアドバイスを行うなど相互扶助活動ができる人材の育成を図り、在住外国人ネットワークの形成を支援するため、在住外国人を対象とした通訳者養成研修をアイーナで開催した。



研修回数；5回 参加者数 延べ83人

a 日時 平成24年1月14日（土）13:00～15:00

「防災、災害対策について」

講師 盛岡市消防防災課課長補佐 石井健治氏 参加者数 14名

b 日時 平成24年1月21日（土）13:00～15:00

「改正入管制度について」

講師 行政書士 横山 勝氏 参加者数 21名

c 日時 平成24年1月29日（日）13:00～15:00

「通訳研修～正しく伝える技術～」

講師 通訳・翻訳家 河田裕子氏 参加者数 16名

d 日時 平成24年2月4日（土）13:00～15:00

「地域のシステム（自治会など）について」

講師 盛岡市地域福祉課課長 沼田由子氏 参加者数 17名

e 日時 平成24年2月18日（土）13:00～15:00

「生活に必要な制度（税金、保険など）について」

講師 NPO法人いわて生活者サポートセンター パートナリサポート事業部長 吉田直美氏 参加者数 15名

(イ) 分野別通訳研修

多言語サポーターが活動する際に必要とされる知識の習得、技術や能力の向上を図るため、医療通訳支援及び学校における通訳支援についての研修会をアイーナで開催した。

・開催回数 2回 参加者 延べ48人
（前年度 2回 延べ43人）



a 日時 平成24年1月22日（日）13:00～17:00

「医療機関受診時における通訳等の支援研修」

講師 県NPO・文化国際課国際交流員 ローリー・カラハン
県国際交流協会国際交流補助員 レベッカ・ハミルトン
県NPO・文化国際課国際交流員 鄭 暁美
県国際交流協会外国人相談専門員 呉 慧敏

参加者数 29名

b 日時 平成 24 年 1 月 29 日（日） 13:00～17:00

「学校における外国人児童生徒等への通訳等の支援研修」

講師 県 NPO・文化国際課国際交流員 ローリー・カラハン

県 NPO・文化国際課国際交流員 アマンダ・クリプス

県 NPO・文化国際課国際交流員 鄭 暁美

県国際交流協会外国人相談専門員 呉 慧敏

参加者数 19 名

③ 私費外国人留学生支援

ア 私費外国人留学生の経済的負担の軽減を図るため、月額 4 万円の奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、協会の活動をはじめ、県内各地で行われた国際交流活動や県内就職を支援するためのフォーラム等への積極的な参加を得た。



・奨学金受給者 10 人 国際交流等活動実績 延べ 348 件（前年度 10 人 延べ 227 件）

氏名	国籍（出身）	学校名	在籍学部等及び学年	区分	活動件数
劉紅嬌	中国（山西省）	岩手大学	教育学部 3 年	国際交流	49
尚万里	中国（山東省）	岩手大学	工学研究科 修士 1 年	国際交流	24
頼永航	中国（広西省）	岩手大学	工学研究科 修士 1 年	国際交流	23
馬艶青	中国（江蘇省）	岩手大学	人文社会科学部 3 年	就職支援	15
楊 軼	中国（吉林省）	岩手大学	人文社会科学部 4 年	就職支援	11
葛 星	中国（河北省）	岩手大学	教育学研究科 修士 2 年	就職支援	48
朴銀貞	韓国（ソウル市）	富士大学	経済学部 4 年	国際交流	113
趙春雷	中国（黒龍江省）	富士大学	経済・経営システム研究科 修士 2 年	国際交流	16
胡義柱	中国（吉林省）	富士大学	経済学部 4 年	就職支援	24
黄東生	中国（吉林省）	富士大学	経済・経営システム研究科 修士 3 年	国際交流	25

イ 関係機関と連携しながら外国人留学生の県内就職を支援するため、岩手県外国人留学生就職支援協議会が実施した“留学生向け「SPI 対策講座」”の案内を留学生へ行った。

ウ 世界と岩手をつなぐネットワーク構築を図るため、帰国した留学生などと継続的に情報交換を行った。

(4) 講座・研修

① いわてグローバル・カレッジの開催

グローバルな視点から岩手の国際化・多文化共生について理解を深めるとともに、今後の国際交流・協力・多文化共生について考える契機とし、県民や関係機関等が一体となって国際交流・協力・多文化共生を進めていくため、県民等に対

象としたセミナーを開催した。

・開催回数 8回 参加者 延べ265人（前年度 18回 延べ730人）

第1回 日 時／平成23年9月25日（日）
タイトル／グローバリゼーションと東日本大震災
講師／正村 俊之 東北大学大学院文学研究科教授

第2回 日 時／平成23年10月1日（土）
タイトル／ユネスコ思想と平泉の世界遺産
講師／大矢 邦宣 盛岡大学文学部教授

第3回 日 時／平成23年10月16日（日）
タイトル／日独交流150周年とこれからの日本とドイツ
講師／ウヴェ リヒタ 岩手県立大学共通教育センター教授

第4回 日 時／平成23年10月30日（日）
タイトル／在住外国人をめぐる法律問題 - 多文化共生社会を考える -
講師／早川 智津子 岩手大学国際交流センター准教授

第5回 日 時／平成23年11月6日（日）
タイトル／岩手の先人 後藤新平と日露関係
講師／ワシーリー モロジャコフ 拓殖大学日本文化研究所客員教授

第6回 日 時／平成23年11月26日（土）
タイトル／日中関係の今とこれから
講師／毛里 和子 早稲田大学名誉教授 現代中国研究所顧問

第7回 日 時／平成23年12月4日（日）
タイトル／海外へ進出した県内企業の戦略と展望
講師／阿部 明 岩手阿部製粉株式会社取締役社長

第8回 日 時／平成23年12月11日（日）
タイトル／20世紀を考える - 21世紀を生き抜くために -
講師／安藤 厚 公益財団法人岩手県国際交流協会理事長



第6回講義 毛里和子氏



第8回講義 安藤厚理事長

② 国際理解ワークショップの開催

国際理解を推進するため、岩手大学や岩手県立大学盛岡短期大学部など県内の学校等からの依頼に応じて、多文化共生をテーマにした国際理解ワークショップの開催、国際理解プログラムの提供等を行った。

・開催回数 12回 参加者 延べ131人（前年度 20回 延べ252人）

(5) 調査研究

① 国際理解ハンドブックの作成

国際理解教育の推進に向け、“いわて国際理解ハンドブック”（Part1）の改訂版として、「多文化共生社会」などをテーマに加えた“いわて国際理解ハンドブック「世界はともだち」（Part2）を作成し、活用を進めるために配布した。

作成部数 500部



2 交流による地域づくり

(1) 情報の収集・提供

① 国際交流・協力・多文化共生に関する図書・情報の収集・提供

国際交流センターの運営を岩手県から受託し、スタッフ職員及び外国人の国際交流補助員を配置しながら、情報発信や、本協会が所有する英語等の蔵書やビデオ、人民日報ほか4か国の4新聞、海外の雑誌・情報誌や海外留学関係等の書籍等の利用、県民の照会等に対応した。

また、委託された業務を執行するだけではなく、協会設立以来20年間蓄積してきたノウハウを活用し、県民から出された要望なども踏まえ、本県国際交流活動等の中核的推進組織としての独自の視点、判断に基づいて、独自予算を使いながら、図書や情報などの収集・提供業務を行った。

特に、協会の資産である県内外の関係機関、団体や個人とのネットワークを活用して、質の高い情報や資料を集積し、国際交流センターを活用して情報を発信するとともに、広く在住外国人や県民の語学学習に役立つ情報を収集し提供した。

さらに、独自に、県内各地域の国際交流・協力・多文化共生事業や外国人を含めた人材等の情報を収集し、交流、海外派遣、海外援助、在住外国人支援、人的情報などを分野別にデータベース化しており、その収集した情報は、協会事業のベースとしても活用した。

ア 国内外の国際交流・協力、多文化共生などに関する図書・資料等を収集し、提供した。

- ・ 図書購入 326冊（前年度249冊）（寄贈を含む。）
- ・ 蔵書等のデータベース登録数 7,153冊（前年度6,734冊）

イ 県内各地域で実施されている国際交流・協力・多文化共生事業や県内外における国際交流・協力・多文化共生に関する外国人を含めた人材等に関する情報を収集し、ホームページへ掲載した。

・ 掲載項目

- 岩手県市町村別国籍（出身地）別外国人登録者
- 語学指導等を行う外国人青年招致事業による外国青年受入状況

- 語学指導等を行う外国人青年招致事業による外国青年配置状況
- 海外技術研修員の受入実績（年度別・国籍別/分野別・国籍別）
- 海外移住実績・在外岩手県人会設立状況
- 県内市町村の姉妹（友好）提携の状況
- 県内高等教育機関における外国人留学生の在籍状況
- 青年海外協力隊派遣実績

ウ 県内在住の留学生など在住外国人の協力を得るとともに、各国大使館等や政府観光局などを通じて国別、地域別の情報や資料を収集し、提供した。

- ・資料収集国数 190 か国（前年度 190 か国）

② 多言語ホームページによる情報提供【再掲】

③ 多言語モバイルサイトによる情報提供【再掲】

④ メーリングリスト「いわてプラネット」の運営

メーリングリスト「いわてプラネット」 i-planet@freeml.com を運営し、県内外で行われる国際交流・協力・多文化共生活動などの情報・意見の交換の場として提供した。

- ・メーリングリスト「いわてプラネット」
登録者数 379 人（前年度 353 人）

⑤ 多言語の国際交流情報紙「jien go」の発行

ア 多言語の国際交流情報紙「jien go」の発行【再掲】

イ メールマガジンの発信

メールマガジンとして登録者へ情報紙の内容を提供した。

- ・メールマガジン登録者数 587 人（前年度 562 人）

⑥ 機関誌「いわて国際交流」の発行

震災直後の外国人の状況や外国人も含め県民が一体となって震災復興支援の活動に取り組む中から多文化共生について考えることを特集企画として、外部編集委員と協働で企画編集を行い、質の向上を図った。また、発行回数を年1回から年2回に増やし、県内の公共機関、関係者等に送付するとともに、国際交流センター内で配布した。また、当協会のホームページでも閲覧できるよう掲載した。

- ・日本語版 7,000 部／年 2 回（前年度 3,500 部／年 1 回発行）



(2) 国際交流の推進

① 国際交流センターの運営推進

岩手県から委託を受けて、県民交流ラウンジや図書資料コーナー、日本語教材室・日本語学習コーナー、相談室、展示コーナー、ワーキングルームなどの施設の運営を行った。

「県民交流ラウンジ」の供用については、外国人の国際交流補助員、外国人相談補助員を配置することにより、一般の外国人県民が気軽に立ち寄れる環境を作るとともに、県民がラウンジで外国人と触れ合い、語学コーナー及び国際交流活動専用テーブルと一体的に、外国語による語学交流などに活用できるように工夫した。

「日本語教材室・日本語学習コーナー」については、教材室を単なる書庫としてではなく、CD ラジカセや小型ホワイトボードも設置し、日本語サポーターなどが日本語学習指導、支援の場としても活用できるように工夫するとともに、日本語学習コーナーを在住外国人が日本語の自習に利用する以外にも、県民と在住外国人が交流できるよう、スタッフ・職員が日本語学習指導、支援の場として利用者を適切に誘導、支援した。

「展示コーナー」や「ワーキングルーム」については、国際交流や国際理解を推進する活動に限定して供するものであり、利用に関しては、スタッフ・職員が、自らの経験や知識による助言や、利用者の企画立案の参考となる他県や海外の資料を「図書コーナー」の中から紹介し、事業に必要な人的リソースをコーディネートするなど、利用者に専門的な対応をすることにより、利用者の国際交流活動を適切に支援した。さらに、「ワン・ワールド・フェスタ」などの自主事業を実施する際に、国際交流関係団体やボランティアと連携のもとに企画運営し、情報発信を行い、在住外国人や県民が施設を利用し、交流を促進する仕掛けづくりを行った。

国際交流等の情報提供、在住外国人に対する生活支援、県民と外国人との交流等の拠点施設である国際交流センターの業務を推進するため、スタッフ 6 名及び外国人の国際交流補助員 1 名を配置し、センター利用者への応対、情報収集・提供、在住外国人の相談、国際理解推進等にあたった。

・来館者数	146,757 人	(前年度 165,947 人)
・インターネット利用者数	6,573 人	(前年度 9,448 人)
・情報提供件数	1,026 件	(前年度 1,081 件)

② センター運営サポーターの登録・活用

国際交流センターの利用者に対してきめ細やかなサービスを提供するため、センター運営サポーターの登録を行い、活用を図った。

・登録者	20 人	(前年度 23 人)
------	------	------------

③ 外国人との交流会「ちゃっとランド」の開催

広く県民に外国人との交流



の場を設け、各国の文化紹介などをテーマに、在住外国人等をゲストスピーカーに迎えて開催した。また、特別版として大震災で被災した中高生をポーランドに招待した「絆の架け橋プロジェクト」実現の労をとったポーランド大使夫婦を囲む感謝の夕べを開催し、多数の県民の参加を得た。

・開催回数 12回 参加者 延べ702人

(前年度 16回 延べ641人[アイーナ(12回)のほか、西和賀町、一関市室根町、九戸村、大船渡市で開催])

開催日	タイトル	ゲストスピーカー	参加者数
平成 23 年 5 月 21 日	第 134 回 韓国の魅力発見！	全度炫さん、李胤晶さん (韓国出身)	53
6 月 4 日	第 135 回 世界遺産と平泉	キース・ヴィースさん (スイス出身)	30
7 月 16 日	第 136 回 英国・イギリスの生活	アン・プリディさん (イギリス出身)	46
8 月 20 日	第 137 回 シンチャオ・ベトナム(ようこそベトナムへ)	グエン・ティン・ギアさん (ベトナム出身)	34
9 月 24 日	第 138 回 海を渡った Japon 南米の日系社会	及川さおりさん(日系社会ボランティアOV)、馬淵由美枝さん (パラグアイ出身、工藤順子さん(アルゼンチン出身))	39
10 月 22 日	第 139 回 エコ生活、街作りを一緒に考えよう	マルクス・ロスケンさん (ドイツ出身)	27
11 月 19 日	第 140 回 ライフ in マダガスカル	ランディアマフニア・フレッドさん (マダガスカル出身)	34
12 月 17 日	第 141 回 もっと知ろう！カナダ！	マルコム・ラーセンスさん (カナダ出身)	38
平成 24 年 1 月 21 日	第 142 回 ロシアの魅力を知ろう！	コロボフ・ドミトリさん (ロシア出身)	39
2 月 18 日	第 143 回 魅惑のマレーシア	アハマド・フィルダウスさん (マレーシア出身)	61
3 月 8 日	第 144 回特別版 もっと知ろう！ポーランド ～大使御夫妻を囲む感謝の夕べ～	ヤドヴィガ・マリア・ロドヴィッチ・チェホフスカ氏 (駐日ポーランド共和国特命全権大使) 平野ユキ子氏(岩手県ポーランド友好協会代表) 田村和子氏(ポーランド語翻訳家)	249
3 月 17 日	第 145 回 意外と知らないオーストラリア!?	ヘイミッシュ・スミスさん (オーストラリア出身)	52

④ 「2011 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の開催

国際交流・協力・多文化共生の啓発普及を図るため、外国人や関係団体等と連携・協働して「世界との絆 ありがとうを岩手から」をテーマに「2011 ワン・ワールド・



フェスタ in いわて」を国際交流センター及び県内 3 地域で開催し、大震災で世界各地から寄せられた支援に感謝するメッセージを国内外に発信した。

■ 国際交流センターにおける開催

- ・開催日 平成 23 年 12 月 4 日（日）
- ・会場 アイーナ
参加者 1,769 人、ボランティア 106 人
(前年度 956 人 63 人)
- ・プログラム 外国紹介ブース&ワールド・スタンプ・ツアー、ワールド食 ing、世界の show time、民族衣装試着、クリスマス・キッズランド、展示「ありがとう」を世界に発信、サンタ・デコレーション・ファクトリー、「世界はともだち」ワークショップ、フェアトレード・カフェ、いわてグローバル・カレッジ第 7 回、海外留学セミナー



■ 地域における開催【再掲】

- 2011 ワン・ワールド・フェスタ in のだ
- 2011 ワン・ワールド・フェスタ in かまいし
- 2011 ワン・ワールド・フェスタ in みやこ



⑤ ワン・ワールドで踊ろう「さんさ踊り」

「2011 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の一環として、在住外国人が岩手の伝統芸能への理解を深め、より多くの県民との交流を図るため、在住外国人、国際交流団体や賛助会員等と連携・協働し、「盛岡さんさ踊り」に参加した。



被災地の外国人や国際交流団体も参加し、盛岡さんさ踊りの由来やゆかたの歴史について学ぶ講座も開設した。

- 参加日 平成 23 年 8 月 2 日（火）
- 参加人数 131 人（14 か国）

⑥ 外国文化紹介講師派遣

地域住民の外国文化に対する理解の促進を図るため、県内で開催される外国文化理解に関する行事等に、国際交流員、海外研修員や「いわて留学生大使」等を講師として派遣した。

- ・派遣回数 31 回 参加者 2,624 人（前年度 30 回 2,426 人）

派遣日	派遣先団体 (会場)	派遣講師 (国籍等)	事業内容	参加者数
-----	---------------	------------	------	------

平成 23 年		鄭曉美さん (中国)		
6 月 1 日	盛岡市立城北小学校 (同上)	ローリー・カラハンさん (アイルランド) レベッカ・ハミルトンさん (オーストラリア) ヴァレラ・チベス・ミゲル・アングエルさん (メキシコ)	国際理解	135
7 月 7 日	NPO 法人 HARP (奥州市立南地区センター)	鄭曉美さん (中国)	国際理解	15
9 月 21 日	盛岡大学 (同上図書館)	アマンダ・クリプスさん (アメリカ)	国際理解	12
9 月 22 日	宮古市立小国小学校 (アイーナ国際交流センター)	鄭曉美さん (中国) アマンダ・クリプスさん (アメリカ)	国際理解	10
10 月 12 日	専修大学北上高等学校 (同上会議室)	アマンダ・クリプスさん (アメリカ)	国際理解	17
10 月 15 日	盛岡市立北松園中学校	ミランダ・カロールさん (ペルー) イ・ユンジュンさん (韓国)		
19 日	(アイーナ国際交流センター)	方琳さん (中国) 三井万里絵さん (パラグアイ)	国際理解	25
10 月 25 日	盛岡市立山王小学校 (同上さくらホール)	ローリー・カラハンさん (アイルランド)	国際理解	187
10 月 30 日	県立図書館 (同上)	ミランダ・カロールさん (ペルー)	国際理解	40
11 月 10 日	(財)盛岡国際交流協会 (プラザおでって)	馬渕由美枝さん (パラグアイ)	料理講座	19
11 月 15 日	県立花巻南高等学校 (同上視聴覚室)	アマンダ・クリプスさん (アメリカ)	国際理解	70
11 月 21 日, 28 日 12 月 5 日, 12 日, 19 日	(財)遠野国際交流協会 (遠野市民センター会議室)	クィンラン・フェリスさん (アメリカ)	語学講座	60
11 月 22 日		アマンダ・クリプスさん (アメリカ) ローリー・カラハンさん (アイルランド)		
12 月 13 日	盛岡市立仁王小学校	鄭曉美さん (中国)		
2 月 28 日	(同上教室)	ミランダ・カロールさん (ペルー)	国際理解	225
11 月 25 日	県高等学校教育研究会英語 部会久慈支部 (久慈総合福祉センター)	アマンダ・クリプスさん (アメリカ)	国際理解	30
12 月 10 日	盛岡市立見前保育園 (同上ホール)	ローリー・カラハンさん (アイルランド)	国際理解	300
12 月 10 日	盛岡市立乙部保育園 (同上)	ディーン・ホルデン・ルツラーさん (アメリカ)	国際理解	240
12 月 12 日	青山保育園地域子育て支援 センター (月が丘児童センター)	ローリー・カラハンさん (アイルランド)	国際理解	26
12 月 16 日	青空保育園 (同上)	ローリー・カラハンさん (アイルランド)	国際理解	102
12 月 17 日	ヒューマンネットワーク ONE WORLD (岩手教育会館)	鄭曉美さん (中国)	国際理解	21

12月18日	川崎21世紀国際交流クラブ (一関市立川崎公民館)	ローリー・カラハンさん (アイルランド)	国際理解	65
12月20日	みどり保育園 (同上)	ローリー・カラハンさん (アイルランド)	国際理解	130
12月20日	下太田保育園 (同上)	ローリー・カラハンさん (アイルランド)	国際理解	150
12月21日	よつば保育園 (同上)	ローリー・カラハンさん (アイルランド)	国際理解	97
12月22日	わかば保育園 (同上)	ローリー・カラハンさん (アイルランド)	国際理解	114
12月23日	子育てサポートセンター (アイーナ6F世代間交流室)	ローリー・カラハンさん (アイルランド)	国際理解	300
12月28日	紫波町教育委員会 (紫波町中央公民館)	レベッカ・アン・ハミルトンさん (オーストラリア)	国際理解	16
平成24年 1月11日	八幡平市田頭公民館 (同上)	ローリー・カラハンさん (アイルランド)	国際理解	23
1月13日	金ヶ崎町国際交流協会 (金ヶ崎町南方地区生涯教育センター)	ローリー・カラハンさん (アイルランド)	料理講座	13
2月12日	花のまち交流協会 (花泉駅前コミュニティセンター)	鄭曉美さん(中国) 三井万里絵さん(パラグアイ)	国際理解	20
2月27日	県立福岡高等学校浄法寺校 (同上)	ローリー・カラハンさん (アイルランド)	国際理解	24
3月3日	西和賀町国際交流協会 (左草温泉ふれあいゆう星館)	三井万里絵さん (パラグアイ)	料理講座	8

⑦ ホストファミリーの登録・活用

ア ホームステイの受入れにより外国人との交流を深めるため、ホストファミリーを登録し、各市町村協会や団体と連携し、活動の機会を提供した。

・登録者 125 家庭 活用 3 件 (前年度 121 家庭、 29 件)

イ ホストファミリー間の情報交換を図るため、ホストファミリーの体験談をホームページ等で紹介した。

⑧ いわて国際化人材の登録・活用

岩手の国際化を推進するため、多様な分野の人材を登録し、国際理解講座や料理講座、通訳・翻訳、日本語学習などに登録者の経験や能力の活用を図った。

・登録者 個人 256 人 団体 7 依頼件数 63 件 活用件数 59 件
(前年度 個人 233 人 団体 7 依頼件数 83 件 活用件数 77 件)

⑨ 国際交流団体等への活動支援

県内の国際交流団体等が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活

動が活発に行われるようにするため、経費の一部を助成した。

・助成数 8件 助成総額 639千円
 (前年度 8件 助成総額 552千円)

助成事業一覧（申請順）

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
元気になろう日本！「国際交流の集い」	川崎 21 世紀国際交流クラブ	60,000 円 (141,081 円)
台湾・嘉義県被災地支援中学校ホームステイに係る応援事業	岩泉町国際交流協会	92,000 円 (141,120 円)
アムネスティ 50 周年記念スピーキングツアー 講演会「ビルマの人々は今！！」	アムネスティ・インターナショナル日本 盛岡グループ	92,000 円 (218,473 円)
岩手・デンマーク友好協会設立 10 周年記念 講演会	岩手・デンマーク協会	72,000 円 (159,417 円)
第 21 回外国人による日本語スピーチコンテスト	国際ゾンタ盛岡ゾンタクラブ	100,000 円 (401,495 円)
「外国人市民を講師とした講座『世界の文化を知ろう』」	奥州市国際交流協会	30,000 円 (72,000 円)
オーストリアに学ぶ森林エネルギーの未来（西和賀町のこれからを考える）	西和賀町国際交流協会	93,000 円 (260,015 円)
地域の国際交流・協力・多文化共生の推進寄与する講演会事業	岩手県中国人会	100,000 円 (206,660 円)

(3) 国際理解の推進

① 「世界学びプラザ」

平泉の世界遺産登録、アルゼンチン県人会設立 40 周年及びパラグアイ・イグアスへの移住 50 周年、また、日独交流 150 周年をテーマとした展示を行い、岩手と世界とのつながりについて情報発信し、国際理解を促進した。



開催場所 国際交流センター

期間	タイトル（協力）
平成 23 年 6 月 1 日～7 月 22 日	「平泉の文化遺産」展示 * 第 135 回ちゃっとランド「世界遺産と平泉」との連携 日時：6 月 4 日（土）14 時～16 時 ゲストスピーカー：キース・ヴィースさん
8 月 6 日～9 月 30 日	アルゼンチン岩手県人会創立 40 周年、パラグアイ・イグアス移住 50 周年記念展示～南米の新天地に生きて～ （アルゼンチン岩手県人会、パラグアイ・イグアス岩手県人会） * 「パラグアイ・イグアス入植 50 周年記念イベント～南米移住者の軌跡をたどって」の開催 日時：8 月 22 日（月）14 時～15 時 ゲストスピーカー：吉田恭子さん 参加者：11 名
10 月 8 日～11 月 6 日	日独交流 150 周年記念展示『共に歩む日本とドイツ』 （岩手日独協会、岩手ラインラント交流協会、雫石町国際交流協会、くずまき高原国際交流推進協議会、県立花巻南高等学校、金ケ崎町、県 NPO・文化国際課）

(4) 国際交流団体等との連携

① 国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流・協力・多文化共生に関わっている団体相互の連絡調整及び情報交換等を行うため、関係団体連絡会議等を国際交流センター及び県内 1 地域で開催した。

連絡会議については、被災地の外国人や団体の情報を共有するために、被災地の国際交流団体等の方々を講師に迎えて報告（地域国際化リーダー研修会）を同時に開催した。

また、地域意見交換会については沿岸地域で開催し、各地域の外国人や団体の状況の共有を図った。

○国際交流関係団体連絡会議

- ・開催日 平成 23 年 5 月 26 日（木）
- ・会場 国際交流センター
- ・参加者 28 団体 54 人（前年度 35 団体 42 人）

○国際交流関係団体地域意見交換会

- ・開催日 平成 24 年 2 月 15 日（水）
- ・会場 宮古市民総合体育館（宮古市小山田）
- ・参加者 9 団体 16 人（前年度 6 団体 16 人）

国際交流関係団体連絡会議登録団体数 147 団体（前年度 145 団体）

分野	団体数
国際理解	22
国際協力	11
日本語教室	8
青少年	13
学校・教育・文化・スポーツ	16
経済・観光	5
二カ国間交流	36
市町村・一般	36

3 次代を担う人づくり

(1) 講座・研修

① 海外体験・留学セミナー

海外留学やワーキングホリディー、海外ボランティアなどを目指す県民を支援するため、それぞれの体験談などを聴く海外留学座談会を開催し、情報を提供した。

開催場所；アイーナ ・参加者 44 人（前年度 44 人）

② インターンシップ・プログラム

当協会の活動や国際交流・協力・多文化共生への理解を深め、就職意識の醸

成にも資するため、岩手県経営者協会が主催するインターンシップ・プログラムの受け入れのほか、教員の研修や小学生や中学生のボランティア体験の受入れも行った。

- ・盛岡市立下小路中学校 平成 23 年 7 月 16 日 教諭 1 人
- ・青少年活動交流センター 平成 23 年 8 月 6 日 小中学生 2 人、青年ボランティア 1 人
- ・岩手大学、岩手県立大学 平成 23 年 9 月 23 日～25 日 大学生 2 人
- ・紫波町立紫波第二中学校 平成 23 年 12 月 1 日、2 日 中学生 2 人

③ いわてグローバル・カレッジの開催【再掲】

④ 国際理解ワークショップの開催【再掲】

⑤ 地域国際化リーダー研修会の開催

地域国際化リーダーを育成するため、関係団体の職員等を対象とした研修会を国際交流センターで開催した。

○報告「被災地の実例」

- ・報告者 オーシャンズ宮古国際交流倶楽部代表 佐々木匡人 氏
釜石市国際交流協会事務局長 加藤直子 氏
陸前高田市国際交流協会日本語教室講師 大和田加代子 氏
- ・開催日 平成 23 年 5 月 26 日（木）
- ・参加者 28 団体 54 人（前年度 35 団体 42 人）

(2) 海外研修員等の受入れ

① 海外研修員等のサポート

県から委託を受けて、県が海外から受け入れる海外技術研修員及び県費留学生の研修等がスムーズに行われるよう生活上の支援を行うとともに、岩手における生活を充実して過ごし、本県の良き理解者・支援者となるようサポートを行った。

区分	氏名	期間	出身国	研修(内容)・留学先
海外技術研修員	馬淵由美枝	平成 23 年 6 月～ 平成 23 年 11 月	パラグアイ	美容技術
県費留学生	三井鈴木 パトリシア万里絵	平成 23 年 9 月～ 平成 24 年 3 月	パラグアイ	岩手大学

(3) 調査研究

① 国際理解ハンドブックの作成【再掲】

4 震災被災者の支援

(1) 情報提供

① 多言語の震災関連情報の情報紙「jien go」(臨時号)の発行

震災復興関連の生活情報を掲載した英語及び中国語の情報紙「jien go」臨時号を発行した。

- ・発行回数 18回
- ・送付先数 1,910ヶ所(延べ)



② ラジオを活用した情報提供

ラジオを活用し、随時震災復興関連の生活情報を英語及び中国語で提供した。被災地の災害FM局に外国人向けの情報や中国語で録音した情報の提供を行った。

(ア) 日時 平成23年8月30日(火) 14:30から

放送局 IBC岩手放送

内容 被災者復興相談支援センターの案内、手動充電式ラジオの配布案内、国務院華僑会から震災慰問金支給の案内(中国語のみ)、当協会外国人相談の案内、当協会2011ワン・ワールド・フェスタ in いわたのボランティア募集の案内

(イ) 日時 平成23年9月8日(木)

放送局 みやこ災害エフエム局

内容 元JET参加者東北被災地招待プログラムで来県した元中国人国際交流員が宮古市を訪問。

被災者復興相談支援センターの案内、手動充電式ラジオの配布案内、国務院華僑会から震災慰問金支給の案内(中国語のみ)、当協会外国人相談の案内。

(ウ) 日時 平成23年9月27日(火) 14:30から

放送局 IBC岩手放送

内容 陸前高田市及び大船渡市の日本語教室開設の案内、川崎21世紀国際交流クラブ及び日本語教室いわて「和」の日本語教室案内、当協会外国人相談の案内

(エ) 日時 平成23年10月25日(火) 14:00から

放送局 IBC岩手放送

内容 陸前高田市及び大船渡市の日本語教室開設の案内、在札幌中国領事館が実施する盛岡での一日領事館解説の案内、当協会2011ワン・ワールド・フェスタ in いわたの案内

(オ) 日時 平成23年11月29日(火) 14:00から

放送局 IBC岩手放送

内容 仙台入国管理局盛岡出張所移転のお知らせ、当協会2011ワン・

ワールド・フェスタ in いわての案内、当協会への登録のお知らせ

- (カ) 日 時 平成 23 年 12 月 27 日 (火) 14:00 から
 放送局 IBC 岩手放送
 内 容 仙台入国管理局盛岡出張所移転のお知らせ、当協会が実施する外国人対象の多言語サポーター研修会開催の案内、当協会への登録のお知らせ、岩手大学中国留学生学友会が主催する春節祝賀会の案内 (中国語のみ)
- (キ) 日 時 平成 24 年 1 月 31 日 (火) 14:00 から
 放送局 IBC 岩手放送
 内 容 仙台入国管理局盛岡出張所移転のお知らせ、当協会 2011 ワールド・フェスタ in みやこの案内、当協会への登録のお知らせ
- (ク) 日 時 平成 24 年 2 月 28 日 (火) 14:00 から
 放送局 IBC 岩手放送
 内 容 仙台入国管理局盛岡出張所移転のお知らせ、在東京フィリピン大使館が盛岡で実施するパスポート更新手続きのお知らせ、当協会への登録のお知らせ
- (ケ) 日 時 平成 24 年 3 月 27 日 (火) 14:00 から
 放送局 IBC 岩手放送
 内 容 在東京フィリピン大使館が盛岡で実施するパスポート更新手続きのお知らせ、当協会への登録のお知らせ、ちゃっとランドのお知らせ

(2) 外国人相談の実施

① 震災関連の相談対応

震災に関する相談、またそれに付随した相談に対応するため、相談窓口を設置するとともに、被災地を中心に地域巡回相談を実施した。

その他、平成 23 年 6 月下旬～7 月上旬には、フィリピン医療チームによる被災地巡回の実施についての支援、平成 24 年 3 月 31 日にはフィリピン大使館によるパスポート書換業務実施にかかる連絡調整などの支援を行った。

巡回日	巡回市町村	巡回者	巡回先
平成 23 年 4 月 12 日	釜石市	主幹、主査	釜石市災害対策本部、釜石新生教会、 FM いわて釜石支局等
4 月 27 日	大船渡市、陸前高田市	常務理事、主幹、主査	陸前高田市避難所、大船渡市役所
5 月 13 日	大船渡市、陸前高田市	主幹、主査	大船渡市サンリア、陸前高田市臨時診療所、陸前高田市日赤臨時診療所
5 月 19 日	久慈市、野田村	主幹、スタッフ	久慈市役所、 FM いわて久慈支局、野田村役場、野田村社会福祉協議会
6 月 18 日	大船渡市	主査、外国人相談専門員	大船渡市日本語教室
9 月 1 日	釜石市、山田町	常務理事、主査	釜石市仮設団地、釜石市災害対策本部、山田町国際交流協会事務局
11 月 18 日	宮古市、山田町	主査、外国人相談専門員	宮古市社会福祉協議会、山田町教育委員会、大槌町復興局、

② 被災地の外国人等の心のケア「語る会」

沿岸地域の被災した在住外国人や在住外国人を支援している方々を盛岡に招き、岩手県立大学社会福祉学部などの講師をアドバイザーに迎え、被災当時からのことをふりかえり、参加者自身の体験したこと、不安に思っていることを語る心のケア「語る会」を行った。



日時 平成 23 年 8 月 2 日 場所 アイーナ団体活動室 2
参加者数（参加地域） 30 名（宮古市、陸前高田市）

(3) 調査研究

① 災害時対応に関わる調査

東日本大震災時の対応について、在住外国人へのアンケート調査や市町村、市町村協会など関係機関への聞き取り調査を実施した。
（在住外国人へのアンケート調査回答数 52）

② 「災害時における国際交流の意義」に関する共同調査

海外の姉妹都市からの支援の状況を岩手県立大学共通教育センター佐藤智子教授及び公益財団法人宮城県国際交流協会と共同で調査した。

- ・調査依頼先数 89 市町村及び市町村国際交流協会（岩手県 54、宮城県 35）
- ・回収率 73.0%（岩手県 74.1%、宮城県 71.4%）

(4) 体制支援

① 震災地域団体支援

東日本大震災の影響で外国人支援を実施することが困難な状況にある市町村や市町村協会に対して支援するため、被災地外国人相談員を委嘱し、県国際交流協会と連絡調整しながら活動した。

加えて、被災地における国際交流活動を支援するために被災地の国際交流協会等と協働し、ワン・ワールド・フェスタを 3 か所で実施した。

- ・被災地外国人相談員
宮古市、山田町担当；佐々木匡人氏（オーシャンズ宮古国際交流倶楽部代表）
釜石市担当；加藤直子氏（釜石市国際交流協会事務局長）
大船渡市、陸前高田市担当；大和田加代子氏（陸前高田市国際交流協会日本語教室講師）
- ・委嘱期間 平成 23 年 6 月～平成 24 年 3 月

○2011 ワン・ワールド・フェスタ in のだ

- ・開催日 平成 23 年 12 月 11 日（日） 参加者 99 人
- ・会場 苫屋（野田村日形井）
- ・共催 岩手県地球温暖化防止活動推進センター

- ・後援 野田村、野田村教育委員会、野田村観光協会
 - ・プログラム いろりトーク「ドイツのエコ生活」・「食から考える環境と健康の話について」、音楽ライブ“エルスカンクディヤードィ”、展示「日独交流 150 周年記念 岩手とドイツの交流」・「海外からの支援メッセージ」
- 2011 ワン・ワールド・フェスタ in かまいし
- ・開催日 平成 23 年 12 月 18 日（日） 参加者 150 人
 - ・会場 釜石市立双葉小学校（釜石市新町）
 - ・共催 釜石市国際交流協会
 - ・協力 北上市国際交流ルーム
 - ・プログラム 外国紹介ブース&スタンプツアー、クラフトコーナー、フェイスペインティング、外国絵本の読み聞かせ、展示「姉妹都市フランス ディーニュー・レ・バン市」・「海外県人会からのメッセージ紹介」、ティータイムコーナー
- 2011 ワン・ワールド・フェスタ in みやこ
- ・開催日 平成 24 年 2 月 5 日（日） 参加者 95 人
 - ・会場 宮古市勤労青少年ホーム（宮古市宮町）
 - ・共催 オーシャンズ宮古国際交流倶楽部
 - ・プログラム 外国紹介ブース、バレンタインデーのクラフト作り、外国絵本の読み聞かせ、展示「ありがとうを世界に発信」、試食&ティータイムコーナー、国際卓球大会

Ⅲ 評議員会・理事会等の開催状況

評議員会、理事会、評議員選定委員会及び専門委員会の開催状況は、次のとおりである。

1 評議員会・理事会等

(1) 第 1 回理事会 平成 23 年 4 月 1 日（金）

ア 決議事項

- ①平成 23 年度事業計画の一部変更
- ②倫理規程の制定
- ③評議員選定委員会運営規程の制定
- ④理事会運営規則の制定
- ⑤専門委員会規程の一部改正
- ⑥賛助会員規程の一部改正
- ⑦理事の職務権限規程の制定
- ⑧事務局規程の制定
- ⑨公印規程の一部改正
- ⑩文書取扱規程の一部改正
- ⑪会計規程の一部改正

- ⑫就業規則の一部改正
- ⑬職員給与規程の一部改正
- ⑭職員退職手当支給規程の一部改正
- ⑮旅費規則の一部改正
- ⑯非常勤及び臨時的任用職員人事事務取扱要領の一部改正
- ⑰財産運用規程の制定
- ⑱寄附金取扱規程の制定
- ⑲協会が保有する文書等の開示に関する要領の一部改正
- ⑳個人情報保護に関する規程の一部改正
- ㉑リスク管理規程の制定
- ㉒公益通報者保護規程の制定
- ㉓コンプライアンス規程の制定
- ㉔国際交流・協力・多文化共生活動支援助成事業実施要綱の一部改正
- ㉕いわて留学生友好交流奨学金支給要領の一部改正
- ㉖広告取扱要領の一部改正
- ㉗共催等承認事務処理要領の一部改正
- ㉘評議員選定委員会委員の選任
- ㉙臨時評議員会の招集

イ 報告事項

- ①平成 23 年度一般会計収支予算
- ②監事監査規程

ウ 出席等

決議に必要な出席理事の数 6 名、出席 8 名、欠席 2 名。監事出席 2 名。

(2) 第 1 回評議員会 平成 23 年 4 月 22 日 (金)

ア 決議事項

- ①補欠の理事及び補欠の監事の選任
- ②評議員会運営規則の制定
- ③役員及び評議員の報酬及び費用に関する規程の一部改正

イ 報告事項

- ①第 1 回理事会の決議内容
- ②平成 23 年度事業計画及び収支予算
- ③監事監査規程

ウ 出席等

決議に必要な出席評議員の数 7 名、出席 11 名、欠席 1 名。監事出席 2 名、理事出席 2 名。

(3) 評議員選定委員会 平成 23 年 5 月 23 日 (月)

ア 決議事項

補欠の評議員の選任

イ 出席等

決議に必要な出席委員の数 3 名、出席 5 名。理事同席 2 名。

(4) 第2回理事会 平成23年6月13日(月)

ア 決議事項

- ①平成22年度事業報告及び附属明細書の承認
- ②平成22年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認
- ③平成23年度事業計画及び収支予算の変更
- ④会計規程の一部改正
- ⑤定時評議員会の招集

イ 報告事項

- ①評議員及び役員の退任
- ②第1回評議員会の決議内容
- ③評議員選定委員会の決議内容
- ④職務の執行の状況
- ⑤県出資等法人に係る中期経営目標の達成状況等

ウ 出席等

決議に必要な出席理事の数6名、出席8名、欠席2名。監事出席1名。

(5) 第2回評議員会 平成23年6月28日(火)

ア 決議事項

平成22年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認

イ 報告事項

- ①評議員の退任
- ②評議員選定委員会の決議内容
- ③第2回理事会の決議内容
- ④平成22年度事業報告
- ⑤平成23年度事業計画及び収支予算の変更
- ⑥県出資等法人に係る中期経営目標の達成状況等

ウ 出席等

決議に必要な出席評議員の数7名、出席11名、欠席1名。監事出席1名、理事出席2名。

(6) 第3回理事会 平成23年11月10日(木)

ア 決議事項

- ①「災害時における国際交流の意義」に関する共同調査研究の実施
- ②在住外国人児童生徒の学習支援いわて多文化子どものキャンプの共同開催

イ 報告事項

- ①第2回評議員会の決議内容
- ②企画推進専門委員会委員の委嘱
- ③職務の執行の状況
- ④資金運用の経過及び結果

- ⑤中期経営目標の進捗状況
- ⑥平成 22 年度事業の評価
- ⑦平成 23 年度県出資等法人運営評価

ウ 協議

事務局職員の採用

エ 出席等

決議に必要な出席理事の数 6 名、出席 8 名、欠席 2 名。監事出席 2 名。

(7) 第 4 回理事会 平成 24 年 3 月 26 日 (月)

ア 決議事項

- ①事務局の重要な職員の任免
- ②平成 24 年度事業計画書及び収支予算書の作成
- ③県出資等法人に係る中期経営計画書（平成 24 年度～平成 26 年度）の作成
- ④会計規程の一部改正

イ 報告事項

- ①事務局職員の採用
- ②職務の執行の状況
- ③資金運用の経過及び結果
- ④コンプライアンスの状況
- ⑤平成 23 年度岩手県出資等法人運営評価レポート

ウ 出席等

決議に必要な出席理事の数 6 名、出席 8 名、欠席 2 名。監事出席 1 名。

2 専門委員会

(1) 第 1 回企画推進専門委員会 平成 23 年 9 月 9 日 (金)

ア 審議事項

平成 22 年度実施事業の評価

イ 出席等

専門委員 8 名、理事 1 名

(2) 第 2 回企画推進専門委員会 平成 24 年 2 月 3 日 (金)

ア 審議事項

平成 24 年度事業計画案

イ 出席等

専門委員 7 名、理事 1 名

IV 寄附金及び賛助会員の状況

寄附金及び賛助会員の状況は、次のとおりである。

1 寄附金の受入れ

- (1) 基本財産寄附金
2件 40,000円
- (2) 一般寄附金
4件 171,865円

2 賛助会員の入退会

	平成 23 年 3 月末	入会	退会		平成 24 年 3 月末	増減
			退会届	会費 不納等		
個人会員	453	22	19	83	373	- 80
学生会員	20	3	3	5	15	- 5
団体会員	68	4	2	9	61	- 7
合計	541	29	24	97	449	- 92